



平成20年9月2日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅森 輝信
(JASDAQ・コード6267)
問い合わせ先 取締役管理部長 小関 幸太郎
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成20年7月期(非連結)業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年7月期(平成19年8月1日～平成20年7月31日)の業績予想について、平成20年5月23日付当社「平成20年7月期第3四半期財務・業績の概況(非連結)」にて発表いたしました業績予想に下記の通り差異が発生したことをお知らせいたします。

記

1. 平成20年7月期業績予想との差異(平成19年8月1日～平成20年7月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月23日発表)	3,500	115	125	48
今回修正予想(B)	3,597	117	132	72
増減額(B-A)	97	2	7	24
増減率(%)	2.8	1.7	5.6	50.0
(ご参考) 前期実績(平成19年7月期)	4,074	211	213	118

2. 差異の発生理由

売上高につきましては、5月の業績予想時に不確定で翌期の売上と見込んだ包装機の案件で、売上計上月を前倒しできた実績が得られたことと、短納期の需要が一部回復し包装関連機器等及び保守消耗部品その他の受注が増加したことから、前回発表予想より97百万円増加し、3,597百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、売上高が増加したものの、大型案件において工数の増加に伴い粗利高が見積りよりも減少する実績が発生したことから、第4四半期の売上総利益率が計画を下回る見込みとなりました。また、業績予想時に需要動向の減退に伴う棚卸資産評価損の発生を特別損失で計上することが見込まれましたが、棚卸廃棄損として売上原価に計上することとなったことから、売上総利益が計画より40百万円程度減少する見込みとなりました。一方で販売費及び一般管理費につ

きましては、経費の抑制に努めたことから、計画よりも 40 百万円程度削減できる見込みとなりました。これらの結果、営業利益につきましては、前回発表予想とほぼ同等の 117 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、雑収入が増加したことから、132 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益が増加したことと、業績予想時に見込んでいた需要動向の減退に伴う棚卸資産評価損の計上が無くなったことから、税金費用を考慮すると前回発表予想より 24 百万円増加し、72 百万円となる見込みであります。

なお、平成 20 年 7 月期の決算発表につきましては、9 月 8 日を予定しております。

以上